

平成 28 年度滋賀県近代美術館学芸職員採用選考第 1 次考查受験案内

平成 28 年 7 月 1 日
滋 賀 県

○第 1 次考查 試験期日および場所

(第 1 日)

平成 28 年 9 月 18 日 (日) 滋賀県庁

(第 2 日)

平成 28 年 10 月 11 日 (火) 滋賀県立近代美術館

○受付期間

(持参の場合)

平成 28 年 7 月 1 日 (金) ~ 平成 28 年 8 月 31 日 (水)

(郵送の場合)

平成 28 年 7 月 1 日 (金) ~ 平成 28 年 8 月 29 日 (月) (消印有効)

◇問い合わせ先

滋賀県立近代美術館総務課 電話 077-543-2111

〒520-2122 大津市瀬田南大萱町 1740-1

※ 申込書交付、受付、問い合わせは、土曜日、日曜日および祝日を除く執務時間(8 時 30 分~17 時 15 分)中にお願ひします。

1 採用職種 学芸員または学芸技師

2 採用予定人員 近・現代美術を担当する学芸職員 1 名

3 受験資格

(1) 次のいずれにも該当する者が受験できます。

ア 博物館法(昭和 26 年法律第 285 号)第 5 条に規定する学芸員の資格を有する者、美術館等において展覧会の企画等の職務に従事した期間が 3 年以上である者またはこれに相当する展覧会の企画等の経験を有する者

イ 昭和 57 年 4 月 2 日以降に生まれた者

ウ 大学卒業程度の学力を有する者

エ 近・現代美術に関し、学芸職員として必要な知識および見識を有する者

(2) 次のいずれかに該当する者は、受験できません。

ア 成年被後見人または被保佐人(準禁治産者を含む。)

イ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでまたはその執行を受けることがなくなるまでの者

ウ 滋賀県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から 2 年を経過しない者

エ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、またはこれに加入した者

4 勤務の条件

- (1) 採用の時期 平成 29 年 4 月 1 日
- (2) 勤務場所 滋賀県立近代美術館および滋賀県庁
- (3) 給与等

ア 給料は、4 年制大学を卒業し、学芸員の資格を有する者にあつては、月額 196,405 円（地域手当を含む。）で、その他に扶養手当、通勤手当、期末手当、勤勉手当等がそれぞれの支給要件に基づき支給されます。また、経歴その他に応じて、上記の額は変更されます。なお、この額は、平成 28 年 4 月 1 日現在のものです。

イ 昇給は、原則として毎年 1 回行われます。

- (4) 学芸員資格を有しない者にあつては、採用後速やかに学芸員資格を取得する必要があります。

5 第 1 次考査

- (1) 日時および場所

試 験		日 時	場 所
第 1 日	筆記試験	平成 28 年 9 月 18 日(日) 9 時 45 分から 16 時頃まで (集合時間 9 時 15 分)	滋賀県庁
第 2 日	口述試験	平成 28 年 10 月 11 日(火)	滋賀県立近代美術館

※ 第 2 日に実施する口述試験は、筆記試験の成績上位者についてのみ行います。

- (2) 方法および内容 大学卒業程度で、次の方法により行います。

試 験		種 目	内 容
第 1 日	筆記試験	教 養 試 験	択一式により、公務員として必要な社会、人文および自然の各科学ならびに現代の社会に関する知識（知識分野）ならびに文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等に関する能力（知能分野）について、筆記試験を行います。
		論 文 試 験	専門的な知識、識見、思考力、表現力等について、筆記試験を行います。
		専 門 試 験 (語学試験)	英語の語学試験を行います。
第 2 日	口述試験	口 述 試 験 (面 接)	美術館学芸職員としての知識および適性ならびに公務員としての素養等について、試験を行います。

- (3) 結果発表

	時 期	方 法
第 1 次考査第 1 日成績上位者	平成 28 年 9 月下旬 (具体的な日時は、第 1 次考査第 1 日に試験会場で通知します。)	県ホームページに掲載するほか、成績上位者に通知します。

第1次考查合格者	平成28年10月下旬 (具体的な日時は、第1次 考查第2日に試験会場で通 知します。)	県ホームページに掲載する ほか、受験者全員に通知し ます。
----------	--	-------------------------------------

6 受験手続および受付期間

(1) 提出書類

ア 選考申込書 1通 (所定の用紙)

交付場所 滋賀県立近代美術館総務課 大津市瀬田南大萱町 1740-1

※ 郵便で請求できます。

角形2号の返信用封筒(宛先を明記し、140円切手を貼付したもの)を「学芸職員採用選考申込書請求」と朱書した封筒に入れて請求してください。

※ この採用選考に係る試験案内、様式等は、滋賀県立近代美術館のホームページ(<http://www.shiga-kinbi.jp/>)からダウンロードできます。

イ 写真 1葉 (最近6か月以内に撮影したものを選考申込書に貼ること。)

ウ 郵便はがき 1枚 (宛先として住所、氏名および郵便番号を記入すること。)

※ 受験番号等の通知に使用します。

(2) 提出先 滋賀県立近代美術館総務課 〒520-2122 大津市瀬田南大萱町 1740-1

(3) 受付期間

ア 持参の場合 提出書類は、平成28年7月1日(金)から平成28年8月31日(水)まで(土曜日、日曜日および祝日を除く。)の執務時間(8時30分から17時15分まで)中に受け付けます。

イ 郵送の場合 提出書類は、平成28年8月29日(月)までの消印のあるものに限る、受け付けます。封筒の表に「採用試験」と朱書し、必ず簡易書留または特定記録郵便により送付してください。

(4) 受験番号の通知 受付期間終了後、出願時に提出された郵便はがきを用いて受験番号等を通知します。平成28年9月14日(水)までに到着しない場合は、滋賀県立近代美術館総務課に連絡してください。

7 日本国籍を有しない者の任用

(1) 日本国籍を有しない者は、「公権力の行使または公の意思の形成への参画に携わる公務員のうち、職務の内容または権限と統治作用との関わり方の程度が強い公務員には日本国籍が必要であり、それ以外の公務員となるためには必ずしも日本国籍を必要としない」という基本原則を踏まえた任用が行われます。

(2) 日本国籍を有しない者は、採用時に当該職務に従事可能な在留資格がない場合には採用されません。

8 その他

(1) 第1次考查合格者については、平成28年11月上旬に滋賀県人事委員会で実施される選考を受けていただきます。

(2) 選考の方法は、口述試験(主として人物についての面接試験)、適性検査(公務員として必要な適性についての検査)等ですが、詳しくは、第1次考查合格者に対して通知します。

(3) 滋賀県人事委員会で実施される選考の合格者には、平成28年11月中旬に採用の通

知をします。

(4) 問い合わせ先

滋賀県立近代美術館総務課

〒520-2122 大津市瀬田南大萱町 1740-1 電話 077-543-2111

平成28年度滋賀県近代美術館学芸職員採用選考申込書

なお、私は地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当いたしておりません。また、この申込書および申し込みに際して提出する全ての書類の記載事項は、事実と相違ありません。

応募職種		近代美術館学芸職員（近・現代美術）				写真をはる位置	
ふりがな		し が た ろ う		外国籍		1 縦 36～40mm	
氏名		滋 賀 太 郎		外国籍の方のみレ印を記入してください		横 24～30mm	
(氏名は必ず自署して下さい)				☐		2 本人半身胸から上	
生年月日		平成2年（1990年）5月13日生 （満 26 才）		性別		3 写真裏面に氏名を記入	
				男		4 裏面のりづけ	
ふりがな とうきょうとちよだくまるのうち							
現住所 〒（ 100 — 0005 ）							
東京都千代田区丸の内3-8-1							
電 話		03 — 1234		—		5678	
携帯電話		090 — 1234		—		5678	
ふりがな しがけんおおつしきょうまち							
連絡先（現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入）							
〒（ 520 — 8577 ）							
滋賀県大津市京町4丁目1-1							
電 話		077 — 524		—		1121	

年	月	学歴（高等学校入学以降）・職歴
		学歴
平成17年(2005年)	4	滋賀県立〇〇高等学校〇〇科入学
平成20年(2008年)	3	滋賀県立〇〇高等学校〇〇科卒業
平成20年(2008年)	4	私立〇〇大学〇〇学部〇〇学科入学
平成24年(2012年)	3	私立〇〇大学〇〇学部〇〇学科卒業
平成24年(2012年)	4	私立〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻入学
平成26年(2014年)	3	私立〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻修了
		職歴
平成26年(2014年)	4	〇〇〇美術館（公開承認施設）勤務
平成28年(2016年)	3	〇〇〇美術館退職

記入上の注意 1 鉛筆以外の青または黒の筆記具で記入してください。
2 数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に書いてください。

年	月	学歴（高等学校入学以降）・職歴
平成28年(2016年)	4	〇〇〇美術館勤務

年	月	免許・資格
平成20年(2008年)	8	普通自動車一種運転免許取得
平成24年(2012年)	3	学芸員資格取得

年	月	学芸員等としての業績（担当した展覧会・執筆論文等）
平成26年(2014年)	1 1	〇〇〇展
平成27年(2015年)	9	〇〇〇展
平成28年(2016年)	3	「〇〇の研究」「美術研究」〇〇号

その他特記事項
--

※欄内に書ききれない場合は、任意の別紙（A4横書き）に記載のうえ添付してください。

平成28年度滋賀県近代美術館学芸職員採用選考申込書

私は、平成28年度滋賀県近代美術館学芸職員採用選考に申し込みます。

なお、私は地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当いたしておりません。また、この申込書および申し込みに際して提出する全ての書類の記載事項は、事実と相違ありません。

(記入日) 平成 年 月 日

応募職種	近代美術館学芸職員 (近・現代美術)				
ふりがな			外国籍 外国籍の方のみレ印 を記入してください 		
氏名					
(氏名は必ず自署してください)					
生年 月日	年	月	日生 才	性 別	

写真をはる位置

- 1 縦 36～40mm
- 横 24～30mm
- 2 本人単身胸から上
- 3 写真裏面に氏名を記入
- 4 裏面のりづけ

ふりがな	
現住所 〒() 電 話 — — 携帯電話 — —	
ふりがな	
連絡先(現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入) 〒() 電 話 — —	

年	月	学歴(高等学校入学以降)・職歴

- 記入上の注意
- 1 鉛筆以外の青または黒の筆記具で記入してください。
 - 2 数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に書いてください。

年	月	学歴（高等学校入学以降）・職歴

年	月	免許・資格

年	月	学芸員等としての業績（担当した展覧会・執筆論文等）

その他特記事項
--

※欄内に書ききれない場合は、任意の別紙（A 4 横書き）に記載のうえ添付してください。

平成28年 7 月 1 日

各 関 係 大 学 長
各 関 係 学 部 長
各大学院研究科長
各 関 係 機 関 の 長
殿

天理大学長 永 尾 教 昭
(公印省略)

教員の公募について（依頼）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学では、下記の要領により教員を募集することになりました。

つきましては、ご多用中まことに恐縮ですが、貴職関係方面へ周知方よろしくお願い申し上げます

記

1. 公募職名・採用人員：専任教員（准教授または講師） 1 名
2. 所 属：国際学部地域文化学科アジア・オセアニア研究コース
3. 専 門 分 野：タイを中心とする東南アジア大陸部を対象とした地域研究、
歴史学、文化人類学、社会学、政治経済学
4. 主な担当授業科目：東南アジア・オセアニア地域研究入門、アジア地域文化概論、
アジア地域文化特論、社会文化演習、基礎ゼミ、異文化実習など
5. 応 募 資 格：(1)天理大学の建学の精神を体し、「陽気ぐらし」世界建設に寄
与する人材の養成のため、熱意を持って教育、研究活動に取り
組みのできる方
(2)博士の学位を有する方、あるいはそれと同等の学識および教
育研究実績を有する方
(3)学生引率を含む海外実習教育および、日々の学生指導に対す
る経験、意欲、熱意を有する方
6. 提 出 書 類：(1)履歴書 1 通（本学所定用紙）
(2)教育研究業績書 1 通（本学所定用紙）
※なお、必要に応じてその他の資料を提出していただく場合があります。
(3)推薦書 1 通（書式は自由）
7. 応 募 締 切 日：平成28年8月31日（水）必着
8. 採 用 予 定 日：平成29年4月1日

9. 選 考 方 法：書類審査および面接（面接時の旅費等は自己負担）
10. 採 否 の 決 定：選考は天理大学人事委員会で行います。選考手続き終了後、本人に通知いたします。なお、応募の秘密は厳守いたします。
11. 応募書類提出先：〒632-8510

奈良県天理市杣之内町1050

天理大学人事委員会

※封筒の表に「地域文化学科（アジア）専任教員応募書類在中」と朱書の上、書留郵便で送付してください。

なお、応募書類は原則として返却いたしませんのでご了承ください。

12. 問 い 合 わ せ 先：天理大学国際学部地域文化学科

アジア・オセアニア研究コース 主任 魯 ゼウオン

Tel 0743-63-7392

E-mail nohbj@sta.tenri-u.ac.jp

※不在の場合は、天理大学庶務課（担当 小島）までお問い合わせください。

Tel 0743-63-9001

E-mail hk3769@sta.tenri-u.ac.jp

13. 備

考：1次選考通過者に理事長面接および国際学部における面接を行います。その際、応募者による模擬授業を課すこともあります。応募書類に含まれる個人情報、採用選考以外の目的には利用いたしません。

提出された書類に不備、不足等がある場合、選考の対象から外れることとなりますので、ご注意ください。

また、選考結果についての説明には応じかねますので、あらかじめご了承ください。

履歴書、教育研究業績書等は、天理大学ホームページよりダウンロードしてください。

<http://www.tenri-u.ac.jp/info/tusaiyou.html>

学会及び社会における活動等

年 月	事 項

賞 罰

年 月	事 項

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

氏 名

㊞

履歴書記入上の注意事項

I. 性別

男女の別を記入してください。

II. 学歴

1. 大学もしくは高等専門学校、またはこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を有する方は、これらの学歴のすべて（中途退学も省略しない）について記入し、その他の方は、最終学歴について記入してください。
2. 博士課程を出てまだ博士号を取得していない方は、「博士課程単位取得満期退学」と記入してください。
3. 大学の別科および専攻科は、この欄に記入してください。
4. 学位、称号の他、医師、歯科医師、薬剤師、看護婦、教員等の資格についても記入してください。学位、称号についてはその種類・名称等を正確に記入してください（例：〇〇修士、修士（〇〇）、△△博士、博士（△△）、◇◇大学名誉教授等）。また、資格については登録番号も付記してください。
5. 学生としての留学は、この欄に記入してください。
6. 外国の資格は正確に記入してください。また、原語も併記してください。

III. 職歴

1. 職歴のすべて（自営業、主婦、無職等も省略しない）について記入し、職名、地位等についても明記してください。
2. 大学の教員の職歴については、主な担当科目を（ ）で付記してください。
3. 担当科目に直接関係のある職歴については、できるだけ具体的に記入してください。
4. 各職歴について、いつからいつまで（例：〇〇〇〇年〇〇月～〇〇〇〇年〇〇月）の職歴かが明確になるように記入してください。なお、現職については必ず「現在に至る」と記入してください。
5. 大学設置・学校法人審議会において、教員の資格審査を受けられた方は、当該審査に係る大学名、審査の年月、職名（教授、准教授〔助教授〕、講師および助教の別）および担当授業科目名の他に、専任、兼担および兼任の別も記入してください。

IV. 学会および社会における活動等

1. 本人の専攻、研究分野等に関連した事項についてのみ記入してください。
2. 所属学会名は正確に記載してください。
3. 学会での発表内容等は、教育研究業績（学術活動）の[学会発表等]に整理して記入してください。

V. 備考

1. 各項目における年月については、西暦で記入してください。
2. 携帯電話番号ならびにメールアドレスについては、支障のない範囲で記入してください。
3. この書類に含まれる個人情報、採用選考ならびに資格審査以外の目的には利用いたしません。

教育研究業績書（研究活動）

年 月 日

[著 書]

氏 名

㊦

書 名	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	担当頁 および 合計頁数
					～ 計 頁

(概 要)

					～ 計 頁
--	--	--	--	--	--------------

(概 要)

					～ 計 頁
--	--	--	--	--	--------------

(概 要)

					～ 計 頁
--	--	--	--	--	--------------

(概 要)

教育研究業績書（研究活動）

[学術論文]

タイトル [査読の有無：]	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	掲載頁 および 合計頁数
[査読の有無：]					～ 計 頁
(概 要)					
[査読の有無：]					～ 計 頁
(概 要)					
[査読の有無：]					～ 計 頁
(概 要)					
[査読の有無：]					～ 計 頁
(概 要)					

教育研究業績書（研究活動）

[その他の執筆業績]

タイトル	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	掲載頁 および 合計頁数
					～ 計 頁
(概 要)					
					～ 計 頁
(概 要)					
					～ 計 頁
(概 要)					
					～ 計 頁
(概 要)					

教育研究業績書（研究活動）

[研究資金獲得：科学研究費補助金]

申請 年度	研究種目	研究課題名	申請者区分	研究期間	交付

教育研究業績書（学術活動）

[教材・教育方法開発等]・[翻訳]・[教養書等]・[事典（辞典）の項目執筆]・[学術報告書、資料集、資料翻刻・紹介]・[図録、文献目録・資料目録]・[書評、新刊紹介]

〔業績ジャンル〕 タイトル	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	掲載頁 および 合計頁数
[]					～ 計 頁
(概 要)					
[]					～ 計 頁
(概 要)					
[]					～ 計 頁
(概 要)					
[]					～ 計 頁
(概 要)					

教育研究業績書（学術活動）

[学会発表等]

発表題目	単独 共同 の別	発表年月	学会等の名称	共同発表者名 (共同発表の場合に記入)	担当箇所
(概要)					
(概要)					
(概要)					
(概要)					

教育研究業績書（学術活動）

[職務上の実績]

職務上の実績に関する事項	年 月	概 要

教育研究業績書記入上の注意事項

この書類は、担当学科目に関連する研究活動および学術活動の業績等について、発行または発表が予定されているものを含み、それぞれ年月順（古いものから新しいものへ）に記入してください。

Ⅰ. 教育研究業績書（研究活動）について

- ・[著書] については、応募者の専門分野に関する研究を書物として世に問う内容のものについてのみ記載してください。教科書、教養書、翻訳等については、「教育研究業績書（学術活動）」へ記載してください。
- ・[学術論文] については、「論文」「研究」「評論」等に位置づけられているもののみを記入してください。また、査読の有無についても記入してください。
- ・[その他の執筆業績] については、「研究ノート」等、学術論文に準ずる執筆業績を記入してください。

なお、年度、年月は西暦で記入してください。

◎[著書]、[学術論文]、[その他の執筆業績] の記入に関して

・単著、共著の別

共著書の1つの章のみを執筆・掲載したものは、学術論文（単著）として扱いますので、該当する業績は[学術論文]へ記載してください。

・発行所、発表雑誌等の名称

①発表学会誌等は、その名称のほか、巻・号まで記入してください。

②発行予定の著書や学術論文については、その旨の証明書（発行証明書、論文受理証明書等）を添付してください。なお、執筆予定や投稿予定のものについては除きます。

・概要

①「概要」の欄には、著書、学術論文、その他の執筆業績の概要を200字程度で記入してください。

②共著の場合は、担当部分（概要、担当頁〔p〇〇～p〇〇〕および合計頁数を示してください）を明記するとともに、本人の氏名を含め著作者全員の氏名を当該著書、学術論文等に記載された順（例：編者△△△△、分担執筆〇〇〇〇、□□□□、××××）に記入してください。
なお、本人の担当部分を明確にできないときは、その理由を明記してください。（例：共同研究につき本人担当部分抽出不可能）

③学位論文については、その旨明確になるよう記入してください。

◎ [研究資金獲得：科学研究費補助金] の記入に関して

文部科学省および日本学術振興会が交付を行っている科学研究費補助金の公募に対し、研究計画調書を作成して応募を行ったことがある場合に記入してください。当該研究計画に対して補助金が交付されたかどうかは問いません。なお、研究分担者として加わった研究計画については除きます。

・研究種目

応募を行った科学研究費補助金の研究種目（例：基盤研究（A）、若手研究等）を記入してください。

・申請者区分

個人での応募の場合は「個人」、研究代表者として応募を行った場合は「研究代表者」と記入してください。

・研究期間

応募した研究計画が複数年にわたる場合は、その期間（〇〇年～〇〇年）を記入してください。

・交付

応募した研究計画に対して補助金が交付された場合は「○」、交付されなかった場合は「×」を記入してください。

◎ [研究資金獲得：その他の研究助成] の記入に関して

科学研究費補助金以外の、各種団体・機関等による研究助成に対して申請を行ったことがある場合に記入してください。当該の申請に対して助成金が交付されたかどうかは問いません。なお、共同研究者等として加わった申請については除きます。

・研究助成の名称

申請を行った研究助成制度の名称を記入してください。助成制度固有の名称がない場合は、当該団体または機関の名称を記入してください。

・申請者区分

個人での申請の場合は「個人」、研究代表者として申請を行った場合は「研究代表者」と記入してください。

・研究期間

申請した研究計画が複数年にわたる場合は、その期間（〇〇年～〇〇年）を記入してください。

・交付

申請した研究計画に対して助成金が交付された場合は「○」、交付されなかった場合は「×」を記入してください。

II. 教育研究業績書（学術活動）について

「I.」の教育研究業績書（研究活動）に記載していない業績に関し、以下の区分にしたがって記入してください。

なお、年度、年月の記入については西暦で記入してください。

◎[教材・教育方法開発等]の記入に関して

語学テキスト等の教科書の作成や文部科学省検定教科書の作成、教育方法等に関する論文および教育研究ノート、教育実践レポートなどに関する業績を記載してください。

各項目の記入については、「◎[著 書]、[学術論文]、[その他の執筆業績]の記入に関して」と同じ要領で記入してください。

◎[翻訳]の記入に関して

翻訳に関する業績を記載してください。

各項目の記入については、「◎[著 書]、[学術論文]、[その他の執筆業績]の記入に関して」と同じ要領で記入してください。

◎[教養書等]の記入に関して

学術的な内容の著書を除く単行本や新書、雑誌・新聞の署名記事等、「Ⅰ. 教育研究業績書（研究活動）」の[著 書]に記載していない業績について記載してください

各項目の記入については、「◎[著 書]、[学術論文]、[その他の執筆業績]の記入に関して」と同じ要領で記入してください。

◎[事典（辞典）の項目執筆]、[学術報告書、資料集、資料翻刻・紹介]、[図録、文献目録・資料目録]、[書評、新刊紹介]の記入に関して

各区分に該当する業績をそれぞれ記載してください。

各項目の記入については、「◎[著 書]、[学術論文]、[その他の執筆業績]の記入に関して」と同じ要領で記入してください。

◎[学会発表等]の記入に関して

国際学会および全国学会での発表（分科会を含む）について記載してください。研究会等での発表に関しては記載の必要はありません。

また口頭発表のほか、学会・シンポジウム等でのコーディネーターや、依頼による発表・講演等についても記載してください。

・単独、共同の別

個人での発表の場合は「単独」、共同研究による発表の場合は「共同」と記入してください。

・学会等の名称

発表を行った学会やシンポジウムの名称を記入してください。分科会での発表の場合は、分科会の名称まで記入してください。

・概要

①「概要」の欄には、発表の持ち時間、発表等の概要を200字程度で記入してください。

②共同発表の場合は、担当部分を明記するとともに、本人の氏名を含め発表者全員の氏名を記入してください。なお、本人の担当部分を明確にできないときは、その理由を明記してください。（例：共同研究につき本人担当部分抽出不可能）

◎[専門分野における業績] の記入に関して

本人の専門とする分野において、担当学科目に関連して、著書、論文等以外に顕著な業績として認められるものについて記載してください。(例：スポーツ選手としての競技実績、スポーツ選手の育成・指導、芸術作品の発表会・演奏会、語学スピーチコンテストの指導〔表彰・入賞したもの〕等)

なお、スポーツに関する実績については、競技成績とともに本人の立場(選手・監督・コーチ等)を「競技成績・発表・演奏等の内容」の欄に記入してください。

◎[職務上の業績] の記入に関して

本人が携わっていた職務に関わって、著書、論文等以外に下記の項目、事項において実績を有している場合に記載してください。

なお、下記の分野、事項はあくまでも例示ですので、該当しない場合であっても、実績として認められるものについては、適宜記載してください。

[項目・事項例]

(i) 新技術の創出や開発などによる産業基盤の構築への寄与

- ・特許取得
- ・顕彰される新製品の開発
- ・関係分野での受賞 等

(ii) 文化の伝承、発展および創造活動への寄与

- ・芸術分野での顕彰や受賞
- ・ジャーナリズムやマスコミ関係での活動 等

(iii) 福祉活動、社会活動における寄与

- ・NPO、NGOにおける活動
- ・社会教育講座、生涯学習講座講師 等

(iv) 国際交流への貢献

(v) その他

平成 28 年 7 月 25 日

各関係大学長
各関係研究科長
各関係学部長 殿
各関係研究機関長

教員の公募について（依頼）

国士館大学文学部
学部長 長谷川 均
（公印省略）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学部では、下記の要領で史学地理学科考古・日本史学コース専任教員を公募することになりました。つきましては、貴職関係各方面にご周知いただき、適任者の応募が得られますよう、お取り計らい方よろしくお願い申し上げます。 敬具

記

1. 職名および人員 准教授または講師 1名
2. 専門領域 日本近世史
3. 担当科目 日本史演習Ⅰ 日本史演習Ⅱ 史科学実習Ⅱ 近世史料を読むⅠ 近世史料を読むⅡ
日本史概説A 日本史A 日本史B
4. 応募資格 (1) 博士号取得者、もしくはこれと同等以上の研究業績を有する者。
(2) 大学院の講義ならびに演習も担当できる者。
5. 応募書類 (1) 履歴書（下記 URL 参照、写真を貼付。連絡先にメールアドレスを記して下さい）。
(2) 最終学歴卒業（修了）証明書または学位記の写し。
(3) 教育研究業績一覧（下記 URL 参照）。
(4) 著書・論文など、主要なもの 5 点（別刷、コピー可）。
(5) 本学での学生教育ならびに自己の研究に関する抱負（各 2000 字以内）。
※ (1) (3) については、本学指定用紙を <http://bungakubu.kokushikan.ac.jp/kb/> よりダウンロードし、その書式で提出して下さい。なお、提出された応募書類は、原則として返却しません。
6. 応募期限 平成 28 年 8 月 31 日（当日消印有効）
7. 選考方法 書類選考の上、採用候補者については後日、シラバスの作成と模擬授業および面接を行います。
なお、旅費等は支給しません。
8. 採用予定日 平成 29 年 4 月 1 日
9. 応募書類提出先 〒154-8515 東京都世田谷区世田谷 4-28-1
国士館大学 文学部長 長谷川 均 宛
「史学地理学科 考古・日本史学コース 専任教員応募書類」と朱書きして下さい。
10. 問い合わせ先 〒154-8515 東京都世田谷区世田谷 4-28-1
国士館大学 文学部 史学地理学科 考古・日本史学専攻
主任 勝田政治
※問い合わせには電子メールを用いて下さい。
メール mkatsuta@kokushikan.ac.jp

平成 29 年度（平成28年度実施）

いわき市職員専門職（学芸員）採用候補者試験

受 験 案 内

受付期間 平成28年8月1日（月）～平成28年9月2日（金）

第1次試験 平成28年9月25日（日）

試験会場 いわき明星大学 3号館
〔所在地 いわき市中央台飯野5-5-1〕

※インターネットにより申し込む場合、受付期間が異なります。詳しくは後段の記載内容を確認してください。

試験職種・採用予定人員・受験資格

職 種	採用予定人員	受 験 資 格
一 般 事 務 職 （ 学 芸 員 ）	若 干 名	昭和56年4月2日以降に生まれた者で学芸員資格を有する者又は平成29年3月までに取得見込みの者のうち学校教育法による大学（短期大学を除く。）又は大学院において美学若しくは美術史を専攻した者。

次のいずれかに該当する者は、受験できません。

- ・ 日本の国籍を有しない者
- ・ 成年被後見人及び被保佐人
- ・ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- ・ いわき市職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- ・ 人事委員会又は公平委員会の委員の職にあつて、地方公務員法第60条から第63条までに規定する罪を犯し刑に処せられた者
- ・ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

試験の方法・内容

- (1) 試験は次のとおり第1次試験と第2次試験を実施するものとし、第2次試験は第1次試験の合格者に対して行います。
- (2) 合格者は、総合得点の高い順に決定します。ただし、基準点に満たない試験種目がある場合には、総合得点にかかわらず不合格となります。

区分	試験種目	内 容
第1次試験	教養試験（多肢選択式）	社会、人文及び自然に関する一般知識並びに文章理解、判断推理、数的推理及び資料解釈に関する一般知能についての筆記試験
	専門試験（記述式）	職員として必要な専門的知識及び能力についての筆記試験 （出題分野は＜専門試験出題分野一覧表＞のとおり）
第2次試験	口 述 試 験	人物についての個別面接による試験
	論 作 文 試 験	論理性、表現力等についての試験
	適 性 検 査	職務遂行上必要な適応性についての検査
	身 体 検 査	職務遂行上必要な健康度を有するかどうかについての検査 （医師の発行する身体検査書の提出により行います。）

＜ 専 門 試 験 出 題 分 野 一 覧 表 ＞

職 種	出 題 分 野
一 般 事 務 職 （ 学 芸 員 ）	西洋近現代美術史、日本近現代美術史、博物館学、生涯学習概論 等

試験の日時・場所・合格発表

区 分	日 時	場 所	合 格 発 表
第 1 次 試 験	平成28年 9 月 25 日（日） 午前 9 時 30 分から 午後 2 時 30 分まで	いわき明星大学 3 号館	平成28年10月14日（金）に 受験者全員に対し合否を通知 するとともに、同日午後 3 時 ごろ、市役所（本庁・各支所） の掲示場に掲示します。
第 2 次 試 験	平成28年10月下旬 ～11月初旬ごろ	いわき市役所 他	平成28年11月25日（金）に 受験者全員に対し合否を通知 するとともに、同日午後 3 時 ごろ、市役所（本庁・各支所） の掲示場に掲示します。
	詳細は第 1 次試験合格者に通知します。		

※ 合格者の受験番号は、市役所の掲示場に掲示した後、市のホームページ上にも掲載します。

合格から採用まで

- (1) 合格者は、採用候補者名簿に登載され、欠員が生じた場合、このうちから順次採用者が決定されます。
採用候補者名簿の有効期間は、平成29年 4 月 1 日から 1 年間です。
- (2) 学芸員の資格取得見込みの者については、資格取得後に採用が決定されますので、平成29年 3 月末までに資格又は免許を取得できない場合は、採用されません。
- (3) 受験申込票及び履歴書等の申込書類の記載事項に虚偽の内容があった場合には、採用後であっても、失職する場合があります。

※ 合格者（採用候補者名簿登載者）のほかに補欠合格者を決定することがあります。補欠合格者は合格者に欠員が生じた場合に限り採用候補者名簿に登載されます。

受験の手続

(1) 受験申込票等の請求

受験申込票及び履歴書は、いわき市役所総務部職員課、支所、市民サービスセンターで交付します。

(2) 申込みの方法

いわき市役所総務部職員課に、次の書類を提出して受験票を受領してください。受験票は、試験当日必ずお持ちください。

郵送で申し込む場合には、82円切手を貼ったあて先明記の返信用封筒（定型（長3型）：12×23.5cm）を同封し、必ず簡易書留で送付してください。

提出書類 ①受験申込票・受験票（様式1）

②履歴書（様式2）

※ 身体障害者手帳を所持している方については、身体障害者手帳の写し（障がい名、障がいの等級及び交付年月日が記載されている頁）を添えてください。

※ 提出書類は返却できませんので、あらかじめ御了承ください。

(3) 受付期間

平成28年8月1日（月）から平成28年9月2日（金）までです。受付事務は、午前8時30分から午後5時15分まで行います（土曜日及び日曜日は、閉庁のため受付はいたしません。）。

受付期間後の受付は行いませんので、十分注意してください。

郵送の場合には、平成28年9月2日（金）の消印のあるものまで受付します。

【重要】提出書類に不備等がある申込みは不受理とさせていただきます場合があります。

十分に受験案内や提出書類に目を通し、確認の上、余裕をもって申込み手続きを行ってください。

☆☆インターネットを利用した申込みについて☆☆

いわき市かんたん申請・申込システムを用いて、次のとおりインターネットによる申込みもできます。

申込みにはパソコンのほか、デジタルカメラ(200万画素以上)とカラープリンタが必要となります。

【注意】身体障害者手帳を所持する者の申込みについては、インターネットによる申込みは受付けておりません。受験申込票・受験票と履歴書に、身体障害者手帳の写を添えて、職員課へ直接お持ちになるか、郵送により提出してください。

申込方法	下記の受付期間に、いわき市のホームページ (http://www.city.iwaki.lg.jp) の「電子サービス」→「電子申請」から「いわき市かんたん申請・申込システム」にアクセスし、採用試験申込みの手続きを行ってください。 ※ いわき市のホームページの職員採用情報に、申込方法等を掲載しておりますので、参照してください。 <u>注) 手続きの方法に関するお問い合わせは、いわき市役所総務部職員課人事係（TEL 0246-22-7403）に連絡してください。（午前8時30分から午後5時15分まで）</u>
受付期間	平成28年8月1日（月）から8月30日（火）まで（ただし、最終日は午後8時までの受付となります。）
受験票の交付	申込み受付後、1週間程度で登録したメールアドレスに、添付ファイルで送信されます。 <u>受験票はカラープリンタでプリントアウトし、試験日当日、必ずお持ちください。</u>

問合せ・書類提出先

いわき市役所総務部職員課人事係（本庁舎4階）

〒970-8686 いわき市平字梅本21番地

電話（代表）0246（22）1111 （内線）2152・2153

（直通）0246（22）7403

勤務条件等について

(1) 給与（初任給）について

- ・いわき市職員の給与に関する条例の規定に基づき、次のとおり支給されます。

卒業区分	初任給 (平成28年4月1日現在)	諸手当
大 学	188,400円	扶養手当、通勤手当、住居手当、期末・勤勉手当等 がそれぞれの手当の支給条件に応じて支給されます。

※ また、上位の学歴、職務経験等を有する場合は、その経験に応じて初任給が増額調整されます。

(2) 勤務時間について

- ・1週間当たり38時間45分で、1週間当たりの勤務日数は5日です。
- ・1日当たりの勤務時間は7時間45分で、8時30分から17時15分までです。

(3) 休暇、休日等について

- ・休日：原則、月曜日は休館日のため、週休日となります。また、日曜日及び土曜日に
ついては、隔週勤務となります。
- ・年次休暇：1年目は年15日、2年目以降は年20日付与されます。
- ・特別休暇：夏季休暇、結婚休暇、産前産後休暇、子育て休暇、忌引休暇などがあります。
- ・その他：病気又は負傷のための休暇、介護休暇、育児休業、育児部分休業などがあります。

※ いわき市では、子育てしやすく働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

(4) 福利厚生制度について

- ・地方公務員等共済組合法に基づき共済組合に加入し、短期給付（医療保険）及び長期給付（年金）を受けるほか、各種福祉・保健事業を利用することができます。

試験結果の開示

この試験結果については、いわき市個人情報保護条例第15条の規定により情報公開センター等で開示請求（開示請求書等の提出が必要）をすることができます。

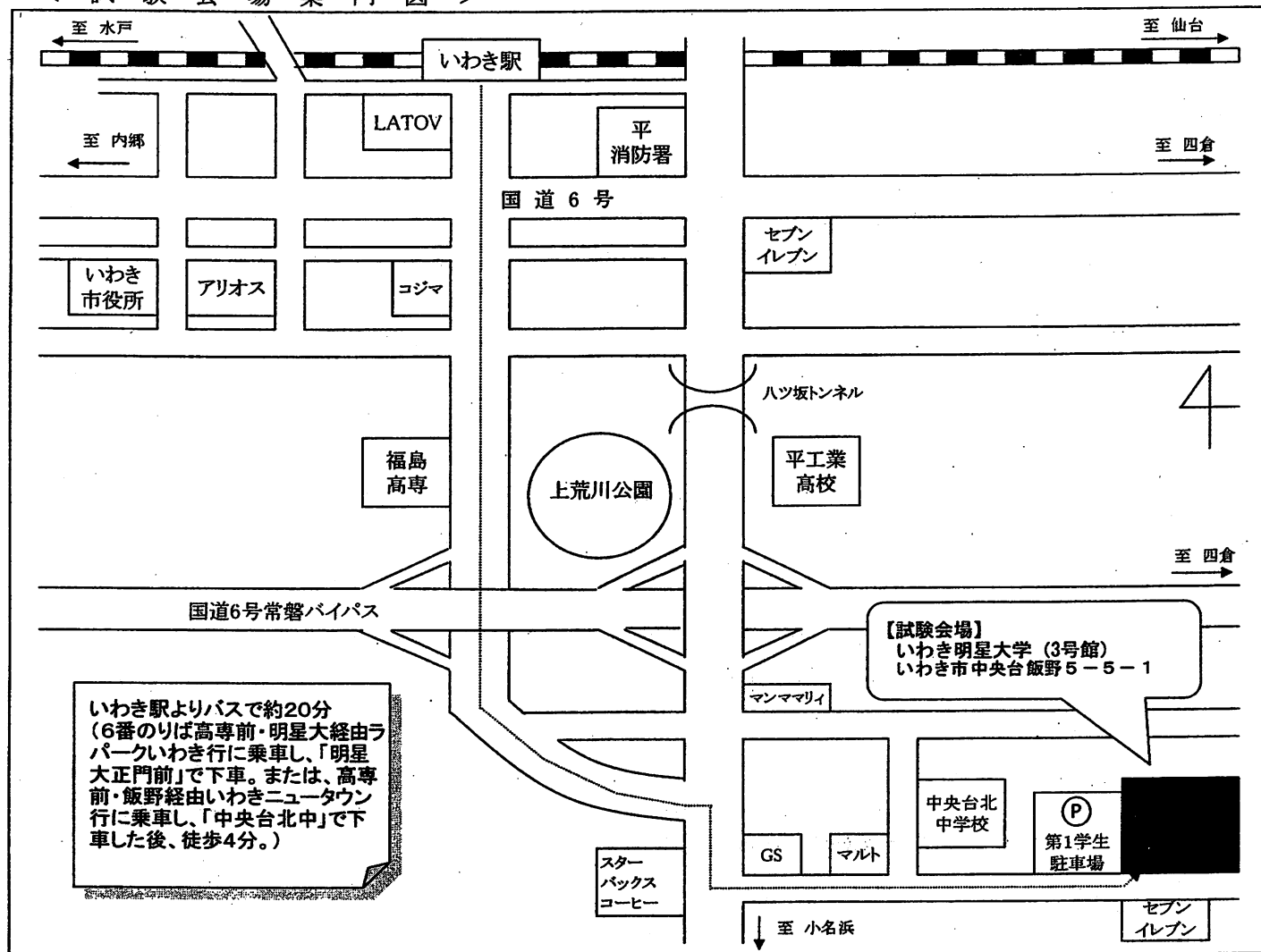
なお、同条例第23条第1項の規定により次のとおり口頭による開示請求をすることもできます。
受験者本人であることを明らかにする書類（運転免許証、受験票等）をお持ちのうえ、受験者本人が直接、職員課へおいください。電話、はがき等による請求は受付できません。

受付時間は、祝日、休日を除く平日の午前8時30分から午前12時、午後1時から午後5時15分までです。（午前12時～午後1時までは開示請求は受け付けできませんのでご注意ください。）

開示請求 できる者	開 示 内 容	開 示 期 間	開 示 場 所
受験者全員	【1次試験】 ・総合得点 ・総合順位 ・科目別（教養、専門）の得点 【2次試験】 ・総合得点 ・総合順位 ・科目別（口述、論文）の得点	各試験の可否の 通知日から1か月間	職員課 (市役所本庁舎4階)

試験会場

< 試験会場案内図 >



※ 車で来場する場合には、第1学生駐車場に駐車してください。また、会場周辺の店舗等へは絶対に駐車しないでください。

様式 1

平成 29 年 度 いわき市職員専門職（学芸員）採用候補者試験 受 験 申 込 票			
職種	一般事務職 （学 芸 員）	※受付番号	
ふりがな		生年月日	
氏 名		昭和・平成 年 月 日（満 歳）	
		性 別	
		男□ 女□	
現 住 所	〒		電話番号（携帯電話可）
休暇中の 連 絡 先	〒		電話番号

【宣誓欄】

私は、次のいずれにも該当しません。また、受験申込票及び履歴書に記入した事項は、すべて事実と相違ありません。

- 1 日本国籍を有しない者
- 2 成年被後見人及び被保佐人
- 3 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- 4 いわき市職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- 5 人事委員会又は公平委員会の委員の職にあって、地方公務員法第60条から第63条までに規定する罪を犯し刑に処せられた者
- 6 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

平成 年 月 日 氏 名 _____

宣誓欄の日付と氏名は必ず本人が記入すること（記入のないものは受付できません）

- ◎注意
- 1 受験申込票及び受験票ともに※印の項目は記入しないこと。
 - 2 宣誓欄の日付は、受験申込票（本票）を記載した日の年月日を記入すること。
 - 3 本票のほか、履歴書を提出すること。
身体障害者手帳をお持ちの方は、身体障害者手帳の写しを添えること。
 - 4 受験申込票及び履歴書の記載内容に虚偽があった場合、失職する場合があります。

平成 29 年 度 いわき市職員専門職（学芸員）採用候補者試験 受 験 申 込 票			
職種	一般事務職 （学 芸 員）	※受験番号	
ふりがな		写 真 次のような写真を、ここに貼ってください。 ・6か月以内に撮影 ・脱帽、上半身、正面向 ・たて 5cm、よこ 4cm 程度 ・本人と確認できるもの	
氏 名			
性別 男□ 女□			
生年月日			
昭和 ・ 年 月 日 平成 (満 歳)			

注意事項

- 1 試験は、平成 28 年 9 月 25 日（日）午前 9 時 30 分からです。
- 2 試験会場は、いわき明星大学 3 号館です。
車で来場する場合には、第 1 学生駐車場に駐車してください。
- 3 試験会場への入場は、午前 8 時 50 分からです。
- 4 次の物を、お持ちください。

- ・受験票 ・鉛筆（HB） ・黒ボールペン
- ・消しゴム ・昼食

注）携帯電話の使用は禁じます。（時計代わりも不可）

履 歴 書 (いわき市職員採用候補者試験受験用)

平成 年 月 日

写 真

ふりがな 氏 名	性 別 ☐ 男 ☐ 女
-------------	--

生年月日 昭和・平成 年 月 日 (満 歳)

現住所 〒

電話番号 (携帯電話可)

(様方呼出)

休暇中の 〒 連絡先

電話番号

(様方呼出)

学 歴 ・ 職 歴 (各別にまとめて書く。)	年	月	

- 大学等は、学部、学科(専攻)名まで記入してください。
- 技術職の受験を希望する方は、これまで履修した又は履修見込みである専門科目を、備考欄に記入してください。(医療職は記載する必要はありません。)
- 学歴は最終学歴(卒業見込みを含む。)まで記入し、職歴についても必ず記入してください。

資 格 ・ 免 許	取 得 (見 込) 年 月 日		資 格 等 の 名 称 (取得見込みを含む。)
	年	月 日	
得意な科目及び研究課題等			
クラブ活動・スポーツ・文化活動等			
自覚している性格			
趣 味			
志望の動機			
備 考 (技術職希望者は履修又は履修見込みである専門科目を記載)			

(印章省略)

平成 28 年 7 月 11 日

関係大学(学部)長
関係大学院研究科長 殿
関係機関長

愛媛大学法文学部長
加藤好文

教員の公募について(依頼)

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学部では、下記要領により表現文化論担当教員を公募することになりました。つきましては、貴学(貴機関)関係者に御周知いただくとともに、適任者の御推薦についてよろしくお取り計らい下さいますよう、お願い申し上げます。

記

1. 所属学科・講座 人文社会学科・人文学講座

2. 担当授業科目

- (1) 表現文化論(概論・特講・基礎演習・専門演習), 基礎外国語(ドイツ語)等
- (2) 共通教育科目(初修外国語(ドイツ語)を含む)

3. 採用職名(人員) 講師(1名)

愛媛大学では、若手教員の能力を積極的に開発し、教育者・研究者としての自立を促進することを目標として、平成25年7月から「テニユア・トラック制度」を導入しました。

具体的には、新規採用された講師、助教の職については、5年の任期を付し、任期中の最初の3年間で合計100時間の能力開発プログラムの受講を義務化するとともに、任期中の最初の3年間に財政的支援(研究費の配分等)を行います。

テニユア資格(終身雇用)の審査については期間中の2年6月を経過した日から2年9月を経過する日までの3月間の期間内において中間審査を、4年4月を経過した日から4年7月を経過する日までの3月間の期間内において最終審査を実施し、中間審査または最終審査に合格した講師は准教授のテニユア職に昇任します。不合格となった場合は、5年の任期満了後の任期更新はありません。

4. 応募資格

- (1) 芸術諸学又は表象文化論、具体的には造形芸術・芸術理論を主たる専門領域として教育研究業績を有する者
- (2) 博士の学位を有する者又はそれと同等の研究業績があると認められる者

5. 採用予定日 平成29年4月1日

6. 応募期限 平成28年9月16日(金)必着

7. 選考方法

- (1) 第1次 書類審査
- (2) 第2次 面接及び模擬授業

8. 提出書類

- (1) 履歴書（写真貼付，学歴は高等学校卒業以降，電子メールアドレスを記入のこと。）
用紙は市販のものでも可。
- (2) 研究業績一覧（著書，論文，学会発表，研究費獲得状況，地域貢献一覧等に分類し，論文については査読付きのものとその他に分類すること。）
- (3) 主要著書・論文等（掲載予定可）5編以内の別刷り又はコピーとそれぞれに400字程度の要旨を付けること。
- (4) 応募理由及び研究・教育・社会貢献の抱負（これまで携わってきた研究，教育，社会貢献，その他の職務内容および今後の研究計画を含む。A4判用紙を用い，2000字程度。）
- (5) 提出書類を返却希望の場合はその旨を記し，返送先を明記し必要な切手を貼付した封筒を同封すること。なお，提出書類は，選考が終了するまで返却できないので，ご了承下さい。

9. 書類送付先

〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学法文学部長あて

（封筒の表に「表現文化論担当教員応募書類」と朱書きし，必ず郵便小包（書留）で送付すること。）

10. 照会先

〒790-8577 松山市文京町3番

愛媛大学法文学部人文社会学科

人文学講座人事委員会委員長 吉田正広

電話 089 (927) 9336

e-mail : yoshida.masahiro.mz @ehime-u.ac.jp

11. その他

選考の過程で，業績の追加提出をお願いすることがあります。また，選考に当たり面接及び模擬授業実施をお願いしますが，旅費，宿泊費等は支給いたしませんので，ご了承下さい。

選考に際しては男女共同参画社会基本法の趣旨にも配慮します。

12. 個人情報について

応募書類に記載された個人情報は，選考及び採用以外の目的には使用しません。なお，最終の選考結果をホームページで公表する際は，「採用候補者の氏名」について公表させていただきますので，あらかじめご了承下さい。

以上

(印章省略)

平成28年7月11日

関係大学(学部)長
関係大学院研究科長 殿
関係機関長

愛媛大学法文学部長
加藤好文

教員の公募について(依頼)

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学部では、下記要領により地理学担当教員を公募することになりました。つきましては、貴学(貴機関)関係者に御周知いただくとともに、適任者の御推薦についてよろしくお取り計らい下さいますよう、お願い申し上げます。

記

1. 所属学科・講座 人文社会学科・人文学講座

2. 担当授業科目

- (1) 地理学(概論・特講・基礎演習・専門演習), 地域文化実験演習(フィールドワーク)等
- (2) 自然地理学・地誌学(教職科目)
- (3) 共通教育科目

3. 採用職名(人員) 講師(1名)

愛媛大学では、若手教員の能力を積極的に開発し、教育者・研究者としての自立を促進することを目標として、平成25年7月から「テニユア・トラック制度」を導入しました。

具体的には、新規採用された講師、助教の職については、5年の任期を付し、任期中の最初の3年間で合計100時間の能力開発プログラムの受講を義務化するとともに、任期中の最初の3年間に財政的支援(研究費の配分等)を行います。

テニユア資格(終身雇用)の審査については期間中の2年6月を経過した日から2年9月を経過する日までの3月間の期間内において中間審査を、4年4月を経過した日から4年7月を経過する日までの3月間の期間内において最終審査を実施し、中間審査または最終審査に合格した講師は准教授のテニユア職に昇任します。不合格となった場合は、5年の任期満了後の任期更新はありません。

4. 応募資格

- (1) 地理学を主たる専門領域として教育研究業績を有する者
- (2) 博士の学位を有する者又はそれと同等の研究業績があると認められる者
- (3) フィールドワークの経験を有し、学内における共同研究に積極的に参加できる者

5. 採用予定日 平成29年4月1日

6. 応募期限 平成28年10月11日(火) 必着

7. 選考方法

- (1) 第1次 書類審査
- (2) 第2次 面接及び模擬授業

8. 提出書類

- (1) 履歴書（写真貼付，学歴は高等学校卒業以降，電子メールアドレスを記入のこと。）
用紙は市販のものでも可。
- (2) 研究業績一覧（著書，論文，学会発表，研究費獲得状況，地域貢献一覧等に分類し，論文については査読付きのものとその他に分類すること。）
- (3) 主要著書・論文等（掲載予定可）5編以内の別刷り又はコピーとそれぞれに400字程度の要旨を付けること。
- (4) 応募理由及び研究・教育・社会貢献の抱負（これまで携わってきた研究，教育，社会貢献，その他の職務内容および今後の研究計画を含む。A4判用紙を用い，2000字程度。）
- (5) 提出書類を返却希望の場合はその旨を記し，返送先を明記し必要な切手を貼付した封筒を同封すること。なお，提出書類は，選考が終了するまで返却できないので，ご了承下さい。

9. 書類送付先

〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学法文学部長あて
(封筒の表に「地理学担当教員応募書類」と朱書きし，必ず郵便小包（書留）で送付すること。)

10. 照会先

〒790-8577 松山市文京町3番
愛媛大学法文学部人文社会学科
人文学講座人事委員会委員長 吉田正広
電話 089 (927) 9336
e-mail : yoshida.masahiro.mz @ehime-u.ac.jp

11. その他

選考の過程で，業績の追加提出をお願いすることがあります。また，選考に当たり面接及び模擬授業実施をお願いしますが，旅費，宿泊費等は支給いたしませんので，ご了承下さい。

選考に際しては男女共同参画社会基本法の趣旨にも配慮します。

12. 個人情報について

応募書類に記載された個人情報は，選考及び採用以外の目的には使用しません。なお，最終の選考結果をホームページで公表する際は，「採用候補者の氏名」について公表させていただきますので，あらかじめご了承下さい。

以上

2016 年 7 月 15 日

関係機関長 各位

上智大学文学部長

大塚 寿郎



上智大学文学部史学科 専任教員公募

上智大学文学部史学科は、下記により専任教員の公募を行いますので、関係学部学科に周知方
よろしく願い申し上げます。

記

1. 所属 文学部史学科
2. 職名・人員 准教授 1 名
3. 専門分野 西洋古代史（古代ローマ史）
4. 担当科目 学部・大学院の歴史学科目（古典語文献講読を含む演習・講義）、
ならびに全学共通科目の歴史学科目
5. 待遇 1)給 与：本学規程による。
2)休 日：学年暦・学事日程による。
3)社会保険：私学共済、厚生年金、雇用保険、労災保険に加入。
6. 着任時期 2017 年 4 月 1 日
7. 応募資格
 - ①博士の学位を有する方、または同等の能力を有する方（単著 1 冊以上ないしは論文
7 編以上の業績を有する方）。
 - ②上智大学の基盤であるキリスト教に対する深い理解のある方。
 - ③海外での Ph.D 取得、ないしは海外での教育研究歴が 1 年以上ある方が望ましい。
 - ④日本語および英語で講義できること。国籍は問わない。
8. 提出書類
A4 用紙使用のこと
 - ①履歴書 1 通（学歴・職歴・教育経験履歴・所属学会・住所・メールアドレス等記載）
 - ②研究業績リスト 1 通
 - ③主要研究業績 5 編の実物またはコピー各 1 部（それぞれ 400 字程度の要旨を添付する
こと。なお、審査の過程ではほかの業績の提出を求めています）
 - ④これまでの研究・教育実績に基づく今後の研究計画・教育方針（2,000 字程度）
9. 提出締め切り 2016 年 9 月 20 日（火）必着
10. 提出先 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1
上智大学文学部史学科事務室宛
提出書類には、「史学科専任教員応募書類」と朱書きし、書留郵便でご郵送下さい。
原則として提出書類は返却致しません。
11. 選考方法 1 次選考：書類審査
2 次選考：面接（書類審査通過者のみ、9 月末～10 月初頭予定、模擬授業をして
いただく可能性があります。）
12. 照会先 上智大学文学部史学科事務室
メール dhistory@sophia.ac.jp
TEL&FAX 03-3238-3590

以 上

関係大学(学部・研究科)長
関 係 機 関 長 殿

島根大学法文学部長

田坂 郁夫

(公印省略)

教員の公募について(依頼)

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび本学部では、下記の要領で教員(1名)を公募することになりました。

つきましては、ご多忙のところまことに恐れ入りますが、関係者ならびに関係諸機関にご周知くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 所 属 島根大学法文学部言語文化学科
2. 職名および人員 准教授または講師 1名
3. 勤務形態および任期 常勤 任期なし
4. 専 門 領 域 ドイツ文化(ドイツ文学, ドイツ語学, 日独文化比較を含む)
5. 担 当 科 目 全学共通教育科目(ヨーロッパの言語文化Ⅰ)
法文学部専門教育科目(ドイツ言語文化入門, ドイツ文化論講義, 日独文化比較講義, 現代ドイツ語基礎演習, ドイツ文化応用演習, 特別研究(卒業論文)の指導など)
6. 応 募 資 格
 - (1) 大学院修士課程修了またはそれと同等以上の学識を有し, 教育上の能力を有する方(ただし, 博士の学位を有していることが望ましい)。
 - (2) 研究論文を公刊している方(未公刊原稿の場合は, 確実な掲載予定証明書の添付があれば可)。
 - (3) 上記科目を担当できる方(人文社会科学研究科(修士課程)の授業も担当できることが望ましい)。
 - (4) 島根大学憲章(<http://www.shimane-u.ac.jp/>)および法文学部の理念・目標(<http://www.hobun.shimane-u.ac.jp/>)に理解を示す方。
 - (5) 外国籍の場合は, 大学の業務遂行に支障がない程度の日本語能力を有する方。
 - (6) 採用後, 松江市またはその周辺地区に居住できる方。
 - (7) 各分野で行われる共同研究について参加可能な方。
7. 着 任 時 期 平成29年4月1日

8. 提出書類
- (1) 履歴書（自筆で署名し、写真を貼付したもの。学位・所属学会も記載してください）
 - (2) 研究・教育業績一覧（公刊されている主要な研究業績3編以内に朱書きで○印を付してください）
 - (3) 著書・刊行論文などすべての研究業績 各1部（別刷り、コピー可）
 - (4) 主要な研究業績（研究業績一覧で朱印を付したもの）に関する日本語の要旨（各800字程度）
 - (5) 専門分野の教育に関して、「島根大学憲章および法文学部の理念・目標を踏まえた上でどのような教育を行うか」についての抱負 A4版2枚（2,000字以内）
 - (6) 「今後の研究の見通しならびに大学の社会的責任」についての考え A4版1枚（1,200字以内）
 - (7) 指導教員その他適切な方の推薦状（可能であれば）
 - (8) 卒業・修了証明書（大学卒業以降のもの）
 - (9) 研究資金（科学研究費補助金、受託研究費、研究寄付金など）受け入れの経歴があればその状況 1通
- ※応募の際の提出書類は原則として返却しません。提出書類の返却を希望する場合は、その旨を記載し、返信用封筒（切手貼付済み）を同封してください。
- ※提出書類に含まれる個人情報は、選考および採用以外の目的には使用しません。
9. 応募書類提出先 〒690-8504 松江市西川津町 1060
島根大学法文学部長 田坂 郁夫 宛
封筒に「ドイツ文化教員採用人事応募書類在中」と朱書きし、簡易書留でお送りください。
10. 応募締切日 平成28年9月23日（金）（必着）
11. 選考方法 第1次審査：書類選考
第2次審査：面接および模擬授業（書類選考通過者に、実施日時・内容などをお知らせします。旅費・宿泊費などは自己負担です）
12. その他 本学は、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、女性教員を積極的に採用しています。

【問い合わせ先】

〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060

島根大学法文学部言語文化学科

英米・ヨーロッパ言語文化分野

教室代表：金山 富美

Tel: 0852-32-6215

E-mail: kanayama@soc.shimane-u.ac.jp

各関係大学長 殿
各関係機関長 殿
関係各位

東京藝術大学音楽学部長
迫 昭嘉 (公印省略)

専任教員の公募について(依頼)

本学部では、下記により教員を公募します。つきましては、貴機関関係への周知方、よろしくお願いいたします。

記

1. 採用職名 准教授または講師
東京藝術大学の規定により、定年(満67歳)を上限として准教授10年、講師5年の任期制(再任可)が適用される。
2. 採用人数 1名
3. 所 属 演奏芸術センター(東京藝術大学芸術研究院音楽表現領域)
4. 担当科目 管弦楽研究部コンサートマスター又はコンサートミストレス(ヴァイオリン)、演奏芸術センターの企画・運営
音楽学部及び音楽研究科におけるヴァイオリン及び室内楽の実技指導等
5. 給 与 本学規定による
6. 応募資格 1) 大学院修士課程修了、またはこれと同等以上の能力および実績を持つ者
2) 日本語で授業と学内業務が果たせること
3) 通勤可能な範囲に居住できること
7. 採用予定日 平成29年4月1日予定
8. 提出資料 1) 履歴書(写真貼付)
2) 研究業績、音楽歴(書式自由)
3) 音楽観、教育理念、志望動機など、自由なテーマによる800字程度の文章(書式自由)
4) 演奏審査での演奏曲目(註1参照)
※ 提出資料の返却を希望する場合は送付先を明記し、切手を貼付した返信用封筒を同封すること
9. 選考方法等 第一次審査: 書類選考(9月下旬を予定。選考結果は書面にて通知)
第二次審査: 演奏審査及び面接
平成28年10月初旬を予定。詳細は一次審査選考結果発表時に通知する。(日程については、応募者との調整を予定。なお、応募にかかる旅費等の経費は応募者の自己負担とする。)
結果通知は、平成28年11月中旬を予定
審査内容等の選考経過は一切公表しない
10. 応募期限 平成28年9月23日(金)必着
11. 提出先 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8
東京藝術大学音楽学部庶務係 宛
※ 必ず書留郵便とし、表に「演奏芸術センター教員(ヴァイオリン)応募資料在中」と朱書すること
※ 提出された個人情報、教員採用に関する業務・連絡・手続き以外の目的に使用することはない
12. 問合せ先 東京藝術大学音楽学部庶務係 藤原
Tel: 050-5525-2302
Fax: 050-5525-2509
E-mail: fujiwara@off.geidai.ac.jp

註1: 60分程度のプログラム。Beethoven、Mendelssohn、Brahmsのヴァイオリン協奏曲より1曲を選択し、その第1楽章を必ず含むこと。なお、二次審査では一次審査後に送付されるオーケストラスタディの曲目も演奏する。

関係機関 各位

弘前大学教育研究院人文社会・教育学系長
今 井 正 浩
(公印省略)

「日本近現代文学」の教員公募について

時下益々清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学系人文科学領域では、下記の要領で当該領域に属する教員を募集します。

つきましては、関係方面（学部・大学院・研究所・その他）への周知方よろしく願いいたします。

記

1. 所属 人文社会・教育学系 人文科学領域
2. 専任担当 人文社会科学部 文化創生課程 文化資源学コース
3. 担当分野 日本近現代文学
4. 担当予定科目 教養教育科目、専門教育科目（「文学入門」、「日本近現代文学」、「日本近現代文学演習」Ⅰ・Ⅱ、「文学と文化」、地域関連科目、ゼミナール、卒業研究指導等）および大学院修士課程教育科目（専攻分野の担当科目等）の担当。
5. 職名および採用人員 講師 1名
6. 勤務形態 常勤（任期なし）
7. 採用予定年月日 平成 29 年 4 月 1 日
8. 応募資格
 - （1）博士の学位またはこれに準ずる研究業績を有する者。
 - （2）青森県を中心とする北東北地域の文化振興等につながる教育研究を通して、社会連携・地域連携にかかわることのできる者。
9. 待遇
 - （1）給与については、弘前大学で規定する年俸制を適用する（ただし、任期付きではない）。
 - （2）採用後の労働条件については、弘前大学の定める規程による。
<http://www.hirosaki-u.ac.jp/reiki/act/print/print110000027.htm>
10. 提出書類
 - （1）履歴書（本学所定の様式）
写真貼付、高等学校卒業以後の履歴・学歴・職歴・研究歴等を明記のこと。
 - （2）研究業績目録（本学所定の様式）
発行・発表年月、発行誌名、発行所、頁数、査読の有無等を明記のこと。
学位〔修士・博士〕論文を含めること。通し番号を付けること。
 - （3）主要研究業績 5 点（研究業績目録において○印で指示すること。コピー・抜刷でも可）
 - （4）研究業績の要旨（様式自由）。主要研究業績については各 1000 字以内、それ以外の業績については各 100 字程度で記したもの。
 - （5）従前の研究活動と今後の研究に対する抱負について、また今後の教育に対する方針と抱負について、それぞれ各 2,000 字以内で記したもの。
 - （6）「日本近現代文学」（学部担当科目）の講義計画（15 回分）
 - （7）学会および地域社会における活動状況の説明書（1. 所属学会とその学会における活動、
2. 地域社会における活動）

11. 応募期限 平成28年10月14日(金) 必着

12. 応募書類提出先 〒 036-8560 青森県弘前市文京町1番地
弘前大学人文社会科学部 宛
電話：0172-39-3194 (ダイヤルイン)

* 封筒に「教員応募書類(日本近現代文学)」と朱書し、簡易書留、レターパック、宅配便、
国外からはEMSなど、送付記録の残る方法で送付すること

13. 問い合わせ先 〒 036-8560 青森県弘前市文京町1番地
弘前大学人文社会科学部総務グループ
電話：0172-39-3194 (ダイヤルイン)
FAX：0172-39-3189
E-mail：jm3194@hirosaki-u.ac.jp

14. その他
- (1) 最終選考に残った場合は、面接や模擬授業を行います。また、全業績(コピー・抜刷は不可)の提出を求めます。(面接時の交通費は応募者の負担とします。ただし、交通費の支援については備考を参照のこと。)
 - (2) 応募書類に含まれる個人情報、本学の規程により適切に管理し、採用者の選考及び採用後の人事等の手続き以外の目的には使用しません。
 - (3) 応募書類は原則として返却しません。返却を希望する場合は、応募時に文書で知らせて下さい。

【備考】

- (1) 弘前大学では、専門分野の教職課程認定の授業科目を担当する場合、全学教員組織にあたる教員養成部門に所属します。
- (2) 弘前大学では、男女共同参画を推進しています。業績及び資格等に関わる評価が同等と認められる場合には女性を優先的に採用します。
- (3) 弘前大学男女共同参画推進室では、面接時交通費支援等を行っています。男女共同参画推進室ホームページをご覧ください。
(<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/support/financialsupport.html>)
- (4) 履歴書、教育研究業績書の様式については、独立行政法人科学技術振興機構の研究者人材データベース JREC-IN (<http://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop>) の本募集よりダウンロードできます。
郵送、電子メール(MS Word, Excel) およびFAXでの提供をご希望の方は、上記問い合わせ先へご連絡下さい。